方城

第五巻　第六号

発行所　方城村公民館
編集発所人　荒木良和
印刷所　有限会社日講印刷
小竹町（旧西尾印刷有限会社）

◇原稿募集◇

一、論文隨筆創作文芸評論何んでも建設的なもの（取捨は編集部に一任）
二、詩歌俳句川柳一人二首二句
三、投稿締切　毎月五日
四、投稿先　方城村公民館

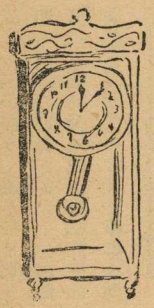
農村文化と生活改善

副館長　高津久雄

筆者は先頃、福岡市、長崎市及熊本市を旅行するの機会を持つことが出来た。之等の戦災都市の著いし復興振りに眼を見張ったのであるが、それにも増して旅行者の多いことに一驚した。次に驚かされたことは旅行者の服装や態度や其の行動が非常によくなって来たことだ。日本の文化は都市文化だと言われるのも故なしの感がした。新しい事を好まない農村人には農村文化の問題が、まだ〳〵他所事の如く縁遠いことに考えられているように見受けられてならぬ。人間は、物が腹一杯食べられる生活が出来れば、それに越したことはないではないかと、云うことで満足が出来れば、それは余りにも哀れな低級な現代ばなれのした考え方だと云はねばならぬ。

生活時間の設計をして無駄を省き、仕事の能率を高めて時間を稼ぎ、生産技術の向上で収入の増加を図り、之に依って衣食住の生活の改善は勿論、自己の研讃や修養に依り、教養の向上に努めたり、子供をして大学教育を修めしめることを以て楽としたり、一家の団欒や家族旅行に人間の生き甲斐を感ずる生活が、農村人にもあってもよいのではなかろうか？、知識の収穫よりも、教養を目的とする会合に出席することよりも、一日の野良仕事をより大切に考える所に農村の進歩を阻まむ原因があるのではなかろうか？農村に何故文化の取入れが必要であったり、生活を改善したりしなければならないのか米国の農家は日本の農家の一〇倍も五〇倍もの広大な耕地や家畜を持っていても、家族だけで立派に仕事を片付けて、日曜日には休む余裕さえもっと云うのに引代え、日本の農家はどうか、僅か一町足らずの耕地の為に追い使われて寸暇もなく、貧乏世帯に終始している現状ではないかそれは考え方が根本的に違うからだと云うの外はないのだ。米国の農家は体力が第一の資産だと考えている従って平素に於て充分の栄養を執り衛生に力め、立派な体格で三人前の仕事をし、時間を大切にして頭を使い、仕事の能率を高めることに心掛け、又畜力や機械を利用し設備を整えて仕事が沢山出来るようにしていると謂う。日本の農家が、まずいものを食べ、悪い体格で機械も畜力も余り使はずに苦労して、仕事の能率を挙げる工夫もせず、時間を無駄にして、きまりのない生活を送っている現状を目撃するとき、誰れでもが考えることだと思うが、此の状態を改善して行かぬ限り悲惨なる溜息の連続する生活はあっても、明い幸福な生活は望み得まいと……

農村文化もよかろう、生活改善もやる可しだ、然し先立つものは金ではないか、現在の様に農産物の価格が安くては何んとも為す術がないではないか、との意見も出ようが、政府当局の多大の期待と地主層の骨をけずる悲惨なる犠牲とに於て断行された、農地の開放問題はどうか？実施後四、五年を経過し、そろ〳〵自作農としての実績が期待されようかとする今日此頃、折角手に入れた土地をぼつ〳〵売に出すものが出て来たと云うことである。之は一つの例に過ぎないが、真に農村復興の為に、或は農民の為を考えて精魂を打ち込んで此の仕事の完遂に努力した人があったとしたら、此の一事に直面したせつな、必ずや切歯して農民の不甲斐なさに、滂沱たる悲憤の涙にむせぶことであろう。自分の生活は自分の責任に於て篤と考えるべきものである。



道路政策の一考察について

悪道生

道路の本質

道路は文化の尺度である。といわれているが、これは原始的道路から、近代の進歩した道路に至るまでの構造上の各段階と道路普及の程度如何を標準とした場合の概念にすぎないと思う。即ち人間社会の進歩発達につれて道路の本質にも変化があったのは当然である。道路が個人の通路にすぎない時代には、危険なく近い道が出来たらそれで良かったので、極めて原始的で自然発生的とも見るべき道路で事は足りたのである。古代、上代にあっては、街道にしても駅制にしても、当年の官吏が中央政の所在地とその勢力範囲であった地方とを往復するだけであった。当時の道路としては、この目的にそえば事は足り、安全で且つ近かければ、それで良い筈であった。我が国に於ては、中世より道路が発達して来た。徳川時代には道路も相当整備された。しかし、その本質は単に軍事上の要求をみたしたのみである。更に家康は百個条をしいたその中に、天下の道路は自他共にその幅員は、大海道六間、小海道三間、横道馬道二間、歩道一間、作道三尺等と規定してあると云われている。そして道路政策は一段と統一的傾向をおびて来た。

項首の道路の本質という言葉が、もし道路工法上から見たものと誤解される様であれば、道路施設としてもよい。たとえて云えば、こゝでいう道路の本質とは相はなれた部落と部落とを結ぶ道路の持つ性格である。現代道路のこの意味に於ける本質は相当複雑である。

現在及び将来のための道路として、適切たらしめるためには、唯単に政治、経済という分派目的だけでなく、地方計画、都市計画と関連して有機的連絡を保って、はじめてその道路の本質が十分に機能を発揮できる。

（以下次号つゞく）

ブックガイド

五月中入荷新刊書

著者	書名
トインビー	試煉に立つ文
小原国芳	玉川児童百科大辞典十四巻
〃	〃十二巻
平凡社	世界歴史事典九巻
毎日新聞社	毎日新聞縮刷版三月号
松原繁樹	蔬園芸ハンドブック下巻
福士貞吉	植物バイラス
鈴木英助	農業英語ポケット
谷田沢道彦	蔬菜品種解説ブック
朝倉書店	

ブックルーム

友の会新登録者		被讀書冊數		閲覧者數	
学生生徒	1	総記	5	官公吏	63
		哲学	4	炭鑛	51
		歴史	4	農業	19
一般	8	社会科学	26	商工業	3
		自然科学	7	学生	14
		工学	3	生徒	13
		産業	7	児童	3
		芸術	5	その他	11
		語学	1	無職	20
計	9	文学	216	計	197
開館日数 24日		計	288		

青年学級開設

五月六日青年学級の開設式を公民館講堂で多数来賓の臨席を得て盛大に挙行し引続き一時間に亘り民主々義に就いて副館長高津久雄氏の記念特別講演があって後、講師と生徒の座談会に移り今時の運営について意見の交換を行い毎週一回水曜日に六乃至七時間開す設る。因に一般希望者にも聴講を許すことゝした。

成年祭の催し

本年成年に達する若人達三二一名の自覚を促し前途を祝福する独立後初の「成年祭」が公民館主催青年団と婦人会後援のもとに盛大に多彩な行事が催れる。

既に十一日成年者の健康診断を終り二十五日に方城中学講堂で午前九時から式典を始め青年部の生花展と写真展覧会。青年と婦人向の記念講演会「長崎の鐘」「晩春」の二本建で母子なごやかな映画鑑賞会を催すことになった。

納税ポスター入選者

納税強調月間の行事の一つとして、小学校及中学校の兒童、生徒から作品を募集したところ、非常に優秀な作品がたくさん出来まして先生方も入選作の選定に、うれしい悲鳴をあげられたそうですが、厳選の結果次ぎの方々が夫々選ばれました。

方城中学校

天賞　一年　三浦　君枝
〃　二年　大久保幸一
〃　三年　久保田ヒロ子
地賞　一年　栗原万寸美
〃　白石イク子
〃　二年　秋野　鈴子
〃　溝口ヨリ子
〃　二年　日野　哲彦
〃　三年　松井　政彦
人賞　一年　藤田ヒロ子
〃　奥　マサエ
〃　二年　藤山ナホ子
〃　藤田トモ子
〃　財部　広
〃　堀江　克美
〃　三年　溝口　照見
〃　道祖　弘

弁城小学校

天賞　六年　香月　武夫
地賞　五年　香月　喬
〃　白石マキ子
〃　四年　岡田セイ子
人賞　六年　香月シゲ子
〃　光井　正弘
〃　五年　久富二三夫
〃　玉江セツ子
〃　四年　加来　真次
〃　三年　永末　順子

伊方小学校

天賞　二年　松田　洋子
〃　三年　江口　寿昭
〃　四年　山下　信治
地賞　六年　桑野　久香
〃　二年　青柳　喬彦
〃　桑野　勝之
〃　三年　久保田俊彦
〃　四年　樋渡　英樹
〃　中神　照子
〃　尾無　建二
人賞　五年　藤田香代子
〃　六年　桑野　俊子
〃　藤田　和子
〃　二年　今水　浩行
〃　滝　正之
〃　三年　長川　敦子
〃　分寺　睦子
〃　平島　勝子
〃　四年　林　洋一
〃　永江　正子
〃　六年　高野　茂
〃　荒井　純子
〃　溝口　典子
〃　藤島　豊子

最后に各学校の先生方や生徒の方々へ御協力下さいました事を厚く御礼申し上げます。

尚別記納税標語も、ポスターの中から原文のまゝ掲載しました。

此れを機会に税金に対する認識を新たにし、納税に協力方併せてお願い致します。（財務課）

久六分館　兼ねて計画中の分館新築工事は其の大半を成就し堂々三十坪の威観を示し目下最後の仕上に館員一致の努力が結集され将来郷土発展に寄与する事が嘱望される。

後谷分館　五月十一日「映画鑑賞の夕」を催し、老若男女一堂に会し和気藹々裡に明日の英気を養い散会した。

上辨城分館　分館活動の発展に随って従来の建物にあきたらず、改築の議が纏り、過る三月堂々四十余坪の新館が竣工し記念講演に水縄村公民館主事林先生の蘊蓄を傾けての大獅子吼に一同感銘し、此の機会に期せずして意見の一致を見たので、分館機構の改革と、旧来の封建的慣習を打破し執行、議決、監査、の三機関を確立し、運営審議委員会を構成して世論の反映に依って運営の円滑を期することなり四月新年度から活潑な運営に着々実績を挙げている。

分館便り

迫分館　毎月少年団活動の一環として、子供の会合を開き実績を挙げ、婦人部では生花講習会等を開き活潑な利用が目立つ。

農繁期と衛生

猫の手もかりたい農繁期が迫って来た、多忙のときに何よりも大切な事は疲れを出来るだけ早く治すことである。疲労がたまると、いろ〳〵な病気が起りやすい。

◎第一には**風呂に入る事**

農繁期の疲れを一日一日に恢復して行くには、毎日風呂に入る事が一番よい。田植の時は手首と腰が特に過労となる。入浴の時手首や腰を、よくもんで血のめぐりを良くしてやることである。

◎第二には**ぐっすり眠る事**

農繁期には無駄な時間を省いて充分な睡眠時間を執り、よく眠ることである。過労に対しては、睡眠の不足が一番毒である。ぐっすり眠ることで大低の場合疲労は、けし飛んで終うものである。

◎第三には**滋養を充分に執ること**

此の期間の食生活は男女同様として魚や卵を出来るだけ多くとることである。魚は干物でもよいから動物質のものを多く食べることである。ビタミンB1の豊富な豆類をたくさんとるとよい。毎年春から夏にかけて身体がだるく疲れやすくなる人が少くないが、此等の人はビタミンB1が足りない事に原因する場合が多いキナコを飯に振りかけて食う事、ビタミンBIの内服薬を飲むこともよい手当であろう。（高津生）

納税標語

完納で築け平和な日本を　伊方校六年　高野　茂

納税の務め果して平和な社会　伊方校六年　今仁敏之

みんな納めて明かるい村　伊方校五年　鈴木　清

何はさておき先ず住民登録を

七月一日住民登録實施

住民登録係（戸籍係）

国民各人の日常生活の利便をはかりあわせて市町村、国の行政事務の適正で簡易な処理に資するため、愈々来る七月一日午前零時現在の事実に基いて住民登録を実施することになりました。これは、従来の寄留法にかはる制度でありまして、七月一日に当方城村に住所を有する者は、一人残らず、この登録届出をしなくてはなりません。

届出の方法は左記の事項を、その世帯主より、あらかじめ配布される用紙に記載して届出ることになって居ます。この登録届出に基き役場で皆さんの各世帯単位の住民票を作製し住民の居住関係を公証する公簿として備え付けることになって居ます。住民登録制度には、どんな利便があるか。

然らば、この住民登録制度は皆さんに、どんな利便があるかと申しますと、この登録をすることによって、入学、就職、家族手当請求に必要な扶養家族証明、印鑑等の場合、従来遠くの本籍地役場から戸籍抄本をとらなければならなかったのが、今後は方城村役場で住民票の謄抄本をとって、それを出せばよいことになります。従って郵便料その他の経費がたすかり、且つ必要なときは、すぐその日に当村役場でとることが出来るので、大変便利になったのであります。

選挙人名簿、主食の配給と登録關係

住民登録制度は皆さんに右のような利便があるだけでなく市町村役場で選挙人名簿、学齢簿、予防接種台帳住民税台帳等の調製、主食の配給、生活保護法による保護の実施、各種統計資料の作製、住民の居住に関する基礎資料としても活用されますので、皆さんが届出を怠り住民票にのって居ない場合は、主食の配給を停止されたり、又は選挙人名簿に載せられなかったり予防接種を受けられないことになり結局方城村に住んで居りながら住民としての恩典に浴さないことになり又本人よりも、その権利を強く主帳出来ないことになります。

住居世帯主等に變更があった場合は

住居世帯主等に變更があった場合は

尚最初の住民登録後皆さんの住所を変更したり、又世帯主を変更した等の場合は必ず十四日以内に届出なければならないことになって居ます。怠ると処罰されますので之等のくわしいことは住民登録の際、調査員によく聞いて心得てをいて下さい。

住民登録と調査員

七月一日の最初の登録実施の際は各地区毎に調査員を依嘱して、その指導に基き、皆さんの御協力を得まして届出の適正、確実をはかることになって居ますので、おわかりにならないことがありましたら、担任地区調査員によく聞いて届出るようにして下さい。

住民登録と其他の心得

一、届出は七月一日より五日まで五日間。二、用紙を事前に配布しますので世帯単位に。(1)氏名。(2)生年月日。(3)男女の別。(4)世帯主についてはその旨、世帯主でない者については世帯主との続柄。(5)戸籍の表示(6)住所。(7)住所を定めた年月日等を記載して下さい。

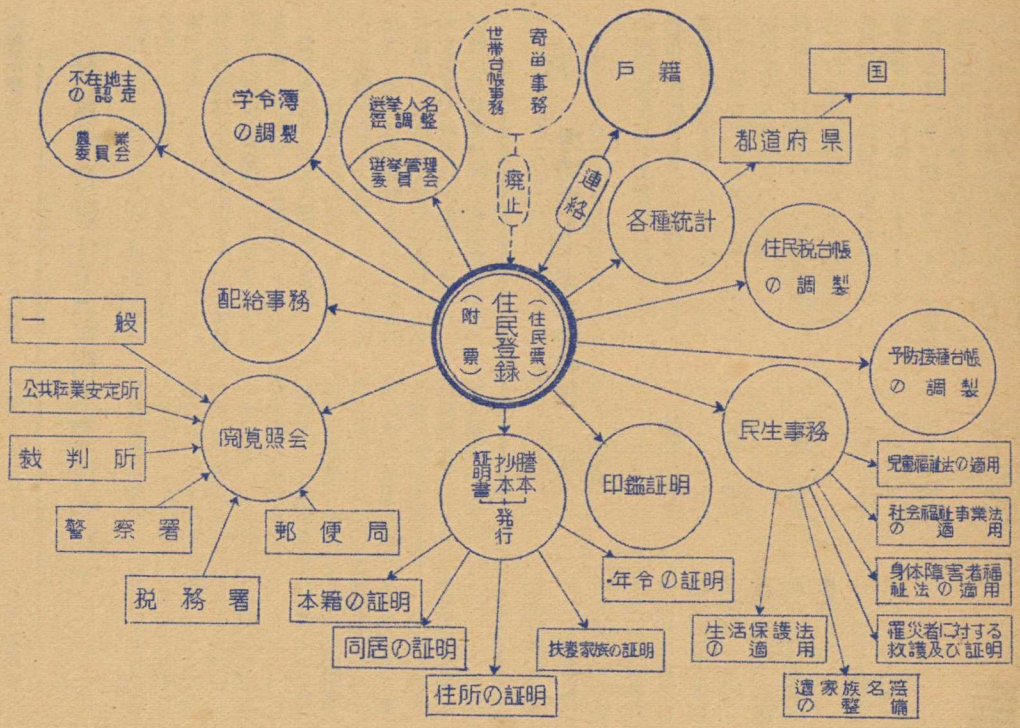
三、家族の氏名、生年月日、本籍地番号が正確にわからない方は、早急に本籍地役場より「戸籍記載証明」を取寄せて登録記載のとき間違のないよう準備してをいて下さい。

殊に本籍地の地番、現在の戸籍の筆頭者（戸主）等が不明の方が多数と思いますので、なるべく方城村に本籍のない方は右の記載証明を必ずとってをいて下さい。

※注‖戸籍記載証明は一通参拾円ですから返送料とも四拾円（切手）を封書に同封の上請求して下さい。

四、従来の寄留法は七月一日より廃止になります。

住民登録制度を中心とした市町村行政事務図表



村人泣かせの道路

最近の道路の悪い事はどうだろう。原因は種々あると思うが、敗戦後急に出来た小型炭坑の石炭輸送用トラックの影響がその大きな原因であろう。それに相俟って方城村内の道路自体がこれらトラックには道路としての条件が適していない点も指摘されよう。

何とかならぬものか？

結極一番迷惑を蒙るのは我々村民で朝夕利用する道路がこんな状態では通る度にふんまんのやり場がない怒りに燃える。

甚だしい所では雨の降った後数日間は田植でも出来そうな所も見受けられる。

聞く所によれば、村の道路維持費として昭和二十七年度予算が三十五万円であり、それこそ天上から目薬程の予算しか計上されていないこれではトラックの交通による道路の荒廃を修理する事は望めない。

私は道路について法的には何も知らないが、結極最も利益を受けている炭坑当局者に修繕して貰うより外に方法がないし、道徳的にも当然炭坑自体が修繕すべきではないか。

石炭輸送のトラックの交通する地域の道路が最もいたんでいる様に見受けるのは私一人ではあるまい。

勿論炭坑当局者が修繕しているのを時々見受けるし、前よりも相当完備された道路もないではないが、一部に於ては其の修繕は単にトラックが通れる様にする程度の修繕であり一般村民に対する奉仕的な点は残念乍ら見受けられない所がある様だ。五月雨期を目前にひかえて村当局、炭坑、並に一般村民協力して早急に重点的道路補修をして戴く事を提唱する。（一村民）

六月の農事

一、稻　田植

◇**田植の時期**＝山間部では晩生種を早蒔き早植をし、成熟を早やめて増収を図るためには、裏作のゆるす限り早植とする。

一般では山間部六月上旬―中旬・中間・平坦部六月中旬―七月初旬

◇**栽植様式**＝地力の高い土壌や多肥栽培では、正方形植がよく、地力の低い秋落する田では並木植（基準山間部一尺×四寸・中間部・一尺×五寸・平坦部一尺×六寸）とする。

◇**施肥**＝水稻の元肥は次を基準として施す。

イ、堆肥＝土地改良上最も必要なものであるから増施に努め、反当二〇〇貫以上を目標とする。未熟堆肥や青草類を鋤き込むと、土壌中でメタンガスを発散して稻の根の生育を害し、根腐を起さしめるので、よく腐熟させてから施す。

ロ、石灰窒素＝反当六貫内外を耕起前全面に撒布し、鋤き込みを行って後五日～七日の間に灌水する。

ハ、硫安＝全層施肥とするには、反当六貫内外を鋤き込み直ちに灌水する植代掻きに施すには反当砂地三～四貫・粘土地五～六貫を代掻き前、水を少くして撒布し、入念に代掻きを行い、水に溶けている肥料分を土壌に吸収させるため二～三日間落水をさしひかえる。水の通路になっている田では畦側の一部に水路を作り灌排水の調節に役立てるがよい。

ニ、人糞尿＝反当二四〇貫内外を鋤き込み又は荒掻き前に撒布し、新しい下肥では三～四日、よく腐熟したものでは撒布当日に灌水する。

ホ、尿素＝反当三貫内外を鋤き込みとし、四～六日の間に灌水する。

ヘ、電化配合（単配肥料）＝反当二袋（一二貫）を鋤き込み五～七日の間に灌水する。二袋施用すれば別に燐酸・加里を施す必要はない。

※注意＝以上各肥料で示した鋤き込み後灌水迄の日数については、その日数より早くても遅くても、肥料成分が流亡するので鋤き込み後灌水迄の日数は定められた日数より三日以上経過しない様に注意すること。

ト、燐酸の流亡を防ぐため、水に溶ける過リンサンの使用をさけ、水に溶けない溶成燐肥・トーマス燐肥を施用する。リンサンは追肥としては効果が少いので全量を元肥に使う。反当五貫（過リンサン溶成燐肥・トーマス燐肥）内外を基準とする。

チ、加里＝砂地・漏水田では反当一貫、粘土地では二貫を鋤き込み又は植代掻きに施用する。

※注意＝リンサンと加里は、いかなる田でも努めて施用すること。

二、果菜類の手入

◇**數ワラ及び灌水**＝作物が生育するために吸収する肥料分は、水にとけているもので水と二緒に吸収する。土壌が乾燥して作物の水分の吸収が少くなると、肥料分の吸収も少くなる。果菜類の栽培時期は一般に土壌が乾燥し、肥料成分の吸収を阻害するので敷ワラ・灌水の必要がある。敷ワラは厚く行い其の上に覆土する灌水設備のある処では夜間畦溝に通水する。又は追肥を兼ねてうすい水肥を、土壌の乾燥する時期を見て施す。

◇**肥料**＝トマト、ナス、胡瓜等は収穫の都度硫安、下肥等を、うすい水肥として施用する。西瓜、甘瓜等は鞍の周囲に肥料を撒布し、根を切らない様中耕を行い土とよく混和し、土寄をして鞍を段々大きくする。次に配合例を示すと

例一、腐熟堆肥五〇貫、硫安三貫、過リンサン二貫、硫酸加里一貫

例二、腐熟堆肥五〇貫、鶏糞（生）一〇貫、硫安二貫五〇〇匁、過リンサン一貫三〇〇匁、硫酸加里八〇〇匁（鶏糞は堆肥と混積してよく腐らしておく）

◇**薬剤撒布**＝トマト、胡瓜其の他果菜類の病害に対しては次により薬剤撒布を行う。雨露によって病菌が作物の体内に侵入するので、降雨前に水一斗にクボイド又は王銅を一二匁とかして、展着剤を加え、葉裏にも充分に薬がつく様入念に撒布する。病気が発生してからの薬剤撒布は効果が少ないので、発生前より予防的に撒布するがよい。（長尾智代喜）

経営の合理化と肥料木草について

方城の山々を眺めて先ず感ずる事は原野と不良林相（竹林灌木）の多い事である。

最近は非常に理解を頂いて、人工造林地の面積が急増しつゝあることは先ず幸いであり、方城の方々の違しい愛林意慾が伺えて嬉しい次第です然し乍ら林業の特異性といゝますかその本質からして之をより高度に利用して土地の生産性を高め、合理的に経営して行くには只無条件に山に木を植るだけでは到底望めるものではない。原野や殆ど利用価値のない不良林廃悪地等は、新しい技術を導入することによって、初めて立派な経済林となす事が出来る。そこで先づ第一に之が為、肥料木草を植栽して土地を、より有効に活用して経営合理化の一助としたい。

肥料木とは紫雲英や大豆等と同じ様に、根瘤菌の作用で空気中の遊離窒素を固定して地力の増進及び栽培植物の生育促進の機能をもつ林木の事を謂うが、種類も多く、その用途や林況等によって夫々適地適木を選定する必要がある。

本年、方城にも数ヵ所特用樹種の試験林を設定し、その中には既に数種類の肥料木も供試されているが、之が成育状況や効果如何は今後の方城村林野を活かす重要な役割をなすものと思われるので、其の結果が大いに期待される。

肥料林木は樹種によって夫れ夫れ特性と差異はあるが全般的に云って、やせ地でもよく生育し、一般樹に比し生長が早く、一度植えておけば、次からは伐採株から新しい芽が出て来るので植替る必要が無い。尚地力を増進するので他の林木との混植に依って、其の林木の成育をも助長促進するし、樹種によっては葉が飼肥料ともなる。

此の様に多くの長所を有するので、これが普及強化を図て、充分実用に供する為、県でも鋭意之等の樹種養成に当っている。大いに一般の方々の認識を深めて頂き度い、次号に具体的各論を述る（筆者は田川地区林業技術普及員中富司技師）

方城ホトトギス会句抄

和布刈炬を先だて彌宣の現はるゝ　堀川　炭舟
和布刈炬に次ぎ次ぎ礁浮きあがる　茎立や観世音寺をたもとほり　梅崎　魁陽
摘草に観世音寺の鐘がはや　梅の宮大みたらしの杓遊び　石橋　梅園
謂請場の邪魔になりつゝ梅盛り　三つ灯る関の御若布を刈れる灯か　白石　芝山
戦犯のホ句に鳴咽の炭をつぐ　漆負けおそれ雛に近よらず　白石千鶴子
除夜の鐘つきに行く子にオーバ着せ　百姓に夜は早きもの虫時雨　香月　梅邸
めつむれば春水われをのせて去る　ものみなの凍てゝ神さび和布刈果て　川原比佐於
生き甲斐をこの子に託し木の葉髪　安武　白茅
またも来る裏比古風雪つのり　武田みつる
汗飛ばし火花をとばし穿孔す　三宅　信定
女工部屋火鉢ゆるされ針供養　中原　一線
荷崩れの大根を拾い車追う　逢坂　逝童
杣衆の煮凝炉辺につゝき合い　白石天留翁
数筵たゝむ間もなく山雨急　石川　小鈴
雑沓を見ず紅梅に心やり
梅夕べ観世音寺ときしからに

番外

ほの白き夜桜道や酒買いに
舟の上に人影ほしき宵ざくら